

第16回タウンミーティングの意見交換内容について

日 時：平成27年11月11日(水)午後7時~8時30分

場 所：城南公民館 学習室

参加者：熊本市教育委員会(崎元委員長、森委員、泉委員、田口委員)、  
市内在住者及び勤務者(25名)

|   | 質問・提案・要望等   | 回 答   | 補 足 | 担当課       |
|---|---|---|-----|-----------|
| 1 | <p>・児童数増加に伴う運動場の広さについて</p> <p>隈庄校区では、児童数が急激に増加しており、仮設教室を設置して対応しているが、それに伴い、運動場が狭くなっている状況である。今後、どのように対応していく予定か。</p> | <p>文部科学省が定める基準によれば、隈庄小学校の運動場の面積は、最低基準を満たしている状態にある。ただし、同じ城南地区の豊田小、杉上小に比べれば、狭い状況にあるということは認識している。</p> <p>児童数が増加した場合の対応については、幾つかの方法がある。本市の学校規模適正化基本方針においては、まず、通常学級数が30を超える学校を過大規模校と位置づけ、その状態が継続する見込みの場合には、分離校を検討することとしている。この他、隣接する校区への就学先の変更、緩衝地区の設定、校区の見直し等を行うことで、児童数増加の緩和を図る方法もあるが、この場合は、まちづくりが校区単位で行われていること等を考慮し、保護者の皆様や地域の皆様と十分に協議しながら、進めていくことになる。また、児童数が増加する状況が長期的に継続する場合には、校舎の改築や増築等を行うことで対応することもある。&lt;事務局&gt;</p>                                   |     | 教育政策課・学務課 |
|   | <p>隈庄小学校は、通いやすく、活気に溢れた学校である。ご説明にあった、体育館、プール、校舎の改築、増築等を行うという対応を取っていただけると嬉しい。</p>                                   |   |     |           |
| 2 | <p>・通学路の安全面について</p> <p>学校周辺より確かな安全のため、通学路に防犯カメラを設置することを推進できないか。</p> <p>また、他校区に設置の事例がある場合は、教えて欲しい。</p>             | <p>学校内に防犯カメラを設置している学校は、小学校94校中8校、中学校42校中8校であり、決して多くはないのが現状である。</p> <p>なお、校外・通学路(道路)への防犯カメラの設置については、教育委員会ではなくまちづくりの担当部局が所管している。現在、市長が中心となって定める本市の教育の方針「教育大綱」を策定するため、市長と教育委員で意見交換を行っている。その際、教育委員会だけでは手の届かない部分もカバーした内容にして欲しいと申し入れており、通学路の安全確保といった点もそこに含まれると考えている。&lt;委員長&gt;</p> <p>上通り・下通りのように、街中の防犯という観点から防犯カメラを設置している地域はあるが、通学路の安全確保という観点から防犯カメラを設置している地域の情報は、今のところ持っていない。</p> <p>まちづくりの担当部局が地域の防犯を担当しているため、本日いただいたご意見をお伝えし、共有させていただきたい。&lt;事務局&gt;</p> |     | 健康教育課     |
|   | <p>防犯カメラ付きの自動販売機があるという話を聞いたことがある。活用できれば、金銭的負担を減らすことができるのではないかと思います。</p>   | <p>いただいた情報を、まちづくりの担当部局へお伝えさせていただきます。&lt;事務局&gt;</p>   |     |           |

| 質問・提案・要望等  | 回答   | 補足 | 担当課   |
|--|--|----|-------|
| <p>・部活動の今後について</p> <p>熊本県では、運動部活動を社会体育へ移行すると決定された。部活動は教育上も非常に有効ではないかと思う。熊本市では、今後、運動部活動をどのように取り扱っていくのか。</p>   | <p>本市では、これまで教育委員会事務局が、運動部活動の社会体育への移行に関する様々な情報収集を行っていた。これに基づき、本日、第1回目の教育委員による意見交換を行ったところである。このような検討を行うのは、熊本県が方針を示したことも一つのきっかけではあるが、それ以上に大きな課題として、教員の負担を軽減し、子ども達と向き合う時間を確保するためにはどうすればよいか、ということがある。一方で、ご指摘のとおり、運動部活動が教育において果たしている役割は、体力向上以外にも多くあり、重要であると認識している。また、仮に社会体育へ移行することを考えても、現状では、運動部活動全てを移行させるだけの受け皿が無い状況である。</p> <p>今後の方向性については、まだ議論中の段階ではあるが、社会体育へ移行するための受け皿を計画的に作っていくとともに、運動部活動についても、教育として行えるのはここまでであるという区切りを明確にし、加熱し過ぎてオーバーワークとなることがないようにしていくことが必要ではないかと考えている。&lt;委員長&gt;</p> <p>保護者の中にも、運動部活動へ期待するレベルが異なる人達が存在する。一方は、体が丈夫になり、友達と仲良くなれば良いと考える方達であり、他方は、将来はプロスポーツ選手にしたいと考える方達である。これらをまとめて全て学校で行うというのは、やはり無理があると思う。プロスポーツ選手を目指すような場合は、やはりクラブチーム等の、それにふさわしい場所で練習していただく方が望ましく、学校においては、体力向上や健康増進、友達との人間関係を作るための運動部活動として、その機会を保障することになるのではないかと考える。現在、このような観点で議論を進めているところである。&lt;教育委員&gt;</p> |    | 健康教育課 |
| <p>部活動の件では、運動部活動ばかりに目が行きがちであるが、文化系の部活動の取扱いについても考えていただきたい。杉上小学校には器楽部があるが、楽器等は学校のものを使っている。もしも部活動が無くなった場合、スポーツのようにクラブチームも無く、活動を継続することが難しくなる。その点に留意していただきたい。</p> | <p>ご意見として承る。&lt;委員長&gt;</p>  |    |       |
| <p>・日本語教育について</p> <p>国際化が進む中で、英語教育に重点を置くべきという声があるが、それよりもまずは日本語教育に力を入れるべきではないか。熊本市は、日本語教育に対して、どのような考えを持ち取り組んでいるのか。</p>  | <p>教育委員会においても、英語も大事だけれども、まずは日本語をしっかりと話すことができるということが基本なのではないか、という議論を行ったことがある。英語教育の推進においても、日本語できちんと表現できなければ、それを英語に置き換えることはできないし、数学においても、文章を読み解く力が問題を解くことにつながる。国語の力が全ての学力の基本になると考えている。そのようなことから、本市では、日本語力の向上のための事業を実施しているところである。&lt;教育委員&gt;</p> <p>グローバル人材というが、英語で話す力が付いたとして、海外に出た際に必要となるのは、日本の文化や言葉を説明できるということである。それがグローバルの第一歩であると思う。その意味でも、日本の文化や日本語をきちんと教育する必要があると考えている。&lt;委員長&gt;</p> <p>日本語力向上事業としては、テレビ局のアナウンサーを講師として各学校に派遣し、詩の朗読や話し方についての講義を実施する等している。また、全ての授業において言語活動を重視しており、国語の授業だけでなく他の教科においても、グループ活動を取り入れる等、自分の考えを友達に伝え、学び合うということを実践しているところである。&lt;事務局&gt;</p>   |    | 指導課   |

|   | 質問・提案・要望等  | 回答  | 補 足 | 担当課   |
|---|--|---|-----|-------|
| 5 | <p>・隈庄小学校の通学路について</p> <p>小学校プールの横の道路が拡幅されたため、自動車の交通量が増えた。その道路の先は、狭くなっており、冬には子ども達がマラソン大会の練習のために走るため、大変危険だと思っている。道路のカラー舗装や注意喚起の看板等、何らかの措置はできないか。</p> <p>また、舞原からの通学路についても、非常に狭くなっている部分があり、以前からの問題である。市長部局の担当課へ伝えて欲しい。</p> | <p>道路の問題であるため、教育委員会で何ができるのか、というのは難しいところである。ただし、いただいたご意見のように、通学路に関する問題に対応するために、教育委員会、学校、PTA、道路を管理する土木センター、警察による通学路の合同安全点検というものを実施している。3カ年かけて全校区を実施する予定であり、隈庄校区は今年度実施した。その際、ただ今ご指摘いただいた点についてお話があつていれば、現在、何らかの検討を行っている状況にあると思われる。いずれにしても、道路の拡幅があつたことで危険性が増したという状況は、大変良くないため、何らかの対応を考えさせていただきたく、こちらからも学校に相談したいと思う。&lt;事務局&gt;</p>   |     | 健康教育課 |
| 6 | <p>・隈庄小学校のプールについて</p> <p>隈庄小学校のプールは、すぐ横に道路が通っている。最近、子ども達の写真を撮影される等、色々な問題が心配されるので、フェンスが設置できないかと思う。他校でそのような事例はないか教えて欲しい。</p>   | <p>プールの横を道路が通っている学校においては、スリットが入り風は通すが、外からは見えないような目隠しが設置してあるところもある。学校施設を管理する担当課へ要望を伝える。&lt;事務局&gt;</p>   |     | 健康教育課 |
| 7 | <p>・命を大切に教育について</p> <p>子ども達の間で「死」という言葉が非常に軽く扱われているように感じる。命に関する教育は、個人的には親が行うものだとは思っているが、教育委員会においてはどのように取り組むと考えているか。</p>   | <p>道徳の授業において、命を大切に教育ということで、小動物の命も含め、教材を使って指導しているところである。合わせて、命をなくした事例等を交えながら、校長等から子ども達に話している。&lt;事務局&gt;</p>   |     | 指導課   |
| 8 | <p>・いじめ対策について</p> <p>示された資料によると、平成26年度のいじめの件数は、前年度に比べて非常に増えている。熊本市ではいじめ防止基本方針を策定し、対策に取り組んでいると思うが、今後はどのような取り組みを行う予定か。</p> <p>学校、保護者、地域が連携して、小さないじめの芽を摘んで行くことが、大きないじめを防ぐことにつながると思う。いじめがゼロとなるよう取り組みをお願いしたい。</p>           | <p>いっどこで何が起きるか分からない、どこでもいじめは起きる、ということも、学校、管理職だけでなく、教員一人ひとりが認識し、子ども達一人ひとりの生活状態を把握しながら、家庭と連携して、些細なところからいじめの芽を摘んでいく、という心構えで、いじめ防止に取り組んでいるところである。この他、学校においては、いじめ防止のための会議を年2回、専門家を交えて開催している。また、6月には、いじめ撲滅月間として校長からの講話等、啓発を行っている。しかしながら、他都市の事例にあるように、いじめが見え難くなっている現状がある。この見え難いいじめを、どのようにして把握していくかという点が大きな課題であるが、家庭と連携しなければ、子ども達の些細な変化を捉えることはできないと考えている。未然防止、早期発見、早期対応が、いじめ対策の3本の基本の柱であるが、教育委員会としても各学校、教員と一緒に取り組むよう心がけており、また、具体的な手立てについても日々、どうすればよいか考えているところである。</p> <p>保護者の皆様も、何かあればご連絡いただきたい。また、相談機関もあるので、子ども達自身にも発信できる力を身に付けて欲しいと考えている。&lt;事務局&gt;</p> <p>最近の子どもを見てみると、コミュニケーション能力が低くなっていると感じる。自分が言ったことを相手がどう捉えるか分からずに発言したり、ちょっと否定されたことを、自分を全否定されたように感じてしまう等、いじめる側も、いじめられる側も、どちらもコミュニケーション能力の低さを感じているところである。熊本の子供達に、遅しさや自分を発信する力を身に付けさせるには、どのようにすればよいか、日々考えているところである。家族の協力は絶対に必要なものであるが、家族力の低下もまた、感じられるところである。どのようにすれば、家族からの協力を得られるのか、そのためにはどのようなことを発信できるのか、ということについても、考えているところである。&lt;教育委員&gt;</p> |     | 総合支援課 |